



POCKET

サーマルカメラ
ユーザーマニュアル



お問い合わせ先

安全上の指示

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産損失を回避できるように保証することを目的としています。ご使用の前に、安全情報をよくお読みください。

法規と規則

製品の使用にあたって、お住まいの地域の電気安全性に関する法令を厳密に遵守する必要があります。

輸送

- ◆ 輸送中は、デバイスを元のパッケージまたは類似したパッケージに梱包してください。
- ◆ 開梱後は、後日使用できるように、梱包材を保存しておいてください。不具合が発生した場合、元の梱包材を使用して工場に機器を返送する必要があります。元の梱包材を使用せずに返送した場合、破損が発生する恐れがありますが、その際に、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 製品を落下させたり、物理的な衝撃を与えないでください。本器を電磁妨害から遠ざけてください。

電源

- ◆ デバイスパッケージに電源アダプタが付属している場合は、付属のアダプタのみを使用してください。電源アダプタが付属していない場合は、使用する電源アダプタまたはその他の電源が制限電源または制限エネルギー回路の要件に準拠していることを確認してください。詳細情報に関しては技術仕様または製品ラベルを参照してください。
- ◆ プラグが適切に電源ソケットに接続されていることを確認してください。
- ◆ 1台の電源アダプターに2台以上の機器を接続してはなりません。過負荷によって過熱したり、火災発生の危険があります。

バッテリー

- ◆ 注意: バッテリーを不正な種別のものと交換すると爆発の危険があります。同一または同等のタイプのものとのみ交換してください。バッテリーのメーカーによって提供され

た指示に準拠して、使用済みバッテリーを処分してください。

- ◆ 不正な種別のバッテリーとの不適切な交換は、安全装置を無効にする場合があります（たとえば、一部のリチウムバッテリータイプの場合など）。
- ◆ バッテリーを火や高温のオーブンの中に投入したり、バッテリーを機械的に粉碎したり切断したりしないでください。爆発の原因となることがあります。
- ◆ バッテリーを非常に高温の環境に放置しないでください。爆発や、可燃性の液体およびガスの漏出を引き起こす可能性があります。
- ◆ バッテリーを極端に低い空気圧下に置かないでください。爆発したり、可燃性の液体やガスが漏出する恐れがあります。
- ◆ バッテリーのメーカーによって提供された指示に準拠して、使用済みバッテリーを処分してください。
- ◆ 内蔵バッテリーは取り外しできません。修理については必要に応じてメーカーにお問い合わせください。
- ◆ バッテリーを長期保存する場合は、3か月に一度はフル充電して、バッテリーの品質を保つようにしてください。これを怠った場合、破損の原因となります。
- ◆ 認定メーカーのバッテリーをご使用ください。バッテリーの詳細な要件については、製品仕様を参照してください。
- ◆ 付属の充電器で種類が異なるバッテリーを充電しないでください。充電中は、充電器の2m以内に可燃物がないことをご確認ください。
- ◆ 初回使用時は、電源オフの状態で3時間以上充電してください。
- ◆ リチウムバッテリーの電圧は3.85V、バッテリー容量は2100mAhです。
- ◆ バッテリーはUL2054によって認定されています。

メンテナンス

- ◆ カメラの電源が入っているときは、感電のおそれがあるのでメンテナンスを行わないでください。製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。承認されていない修理や保守行為による問題について、当社はいかなる責任も負いません。
- ◆ 必要ならば、エタノールを少量含ませたきれいな布でデバイスを静かに拭きます。

- ◆ メーカーが指定していない方法で使用した場合、デバイスが提供する保護機能が損なわれる恐れがあります。
- ◆ USB 3.0 PowerShareポートの電流の制限は、PCブランドによって異なる場合があります、非互換性の問題が発生する可能性があることに注意してください。したがって、USBデバイスがPCのUSB 3.0 PowerShareポート上で認識されない場合は、通常のUSB 3.0またはUSB 2.0ポートを使用することをお勧めします。
- ◆ 本カメラは、画質と測定精度を最適化するために、定期的に自己キャリブレーションを実行します。このプロセスで、画像が短時間静止し、検知器の前でシャッターが動く際に「カチッ」という音が聞こえます。起動中や、非常に低温または高温の環境では、自己キャリブレーションがより頻繁に実行されます。これは、カメラの最適な性能を確保するための正常な動作です。

使用環境

- ◆ 実行環境がデバイスの要件を満たしていることを確認します。動作温度は-10°C～50°C (14°F～122°F)で、動作湿度は95%以下です。
- ◆ デバイスは、乾燥して換気の良い環境に配置してください。
- ◆ デバイスを強い電磁波や埃の多い環境にさらさないでください。
- ◆ レーザー装置を使用している場合は、デバイスのレンズがレーザービームにさらされていないことを確認してください。焼損するおそれがあります。
- ◆ レンズを太陽や極端に明るい場所に向けないでください。
- ◆ このデバイスは、屋内使用専用です。
- ◆ 防水レベルは IP54 です。

緊急

デバイスから煙や異臭、異音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。

白色補助光

- ◆ 200 mm の距離での光線は、リスクグループ 1 (RG1) に分類されます。
- ◆ カメラの組み立て、取り付け、またはメンテナンスを行う際は、適切な保護メガネを着

用するか、白色ライトを点灯しないようにしてください。

- ◆ デバイスの取り付けやメンテナンスを行う際に、適切なシールドや保護メガネを使用できない場合は、安全な距離(1.3m)または直接光が当たらない場所でのみライトを点灯してください。

キャリブレーションサービス

メンテナンスポイントに関する情報については、最寄りの販売店にお問い合わせください。より詳細な較正サービスについては、<https://www.hikmicrotech.com/en/support/>を参照してください。

テクニカルサポート

<https://www.hikmicrotech.com/en/contact-us.html>ポータルは、HIKMICROのお客様がHIKMICRO製品を最大限に活用するのに役立ちます。ポータルから、サポートチーム、ソフトウェアとドキュメント、サービスの連絡先などにアクセスできます。

限定的保証

製品保証ポリシーについては、QRコードをスキャンしてください。



メーカー住所

310052 中国浙江省杭州市滨江区西興地区段鳳通り399号2棟ユニットB 313号室

Hangzhou Microimage Software Co., Ltd.

法令順守通知

本サーマルシリーズ製品は、アメリカ合衆国、欧州連合、英国などワッセナー・アレンジメントの会員国を含むがそれだけに限定されない各国・各地域で、輸出管理の対象となる可能性があります。サーマルシリーズ製品を外国へ転送・輸出・再輸出する場合は、貴社の法務・コンプライアンス部門もしくは自国の政府機関に、輸出ライセンスの条件についてご確認ください。

記号の定義

本書で使用されている記号は以下のように定義されます。

記号の	説明
 危険	回避しないと、死亡または重傷を招く可能性のある危険な状況を示します。
 注意	潜在的に危険となりうる状況を表しており、防止できなかった場合、機器の損傷、データの消失、性能劣化など、予測不能な結果が生じる可能性があります。
 注意	本文中の重要点を強調したりそれを補う追加情報を提供します。

目次

第1章 概要.....	1
1.1 ご利用の皆様へ	1
1.2 デバイスの説明	1
1.3 主な機能	1
1.4 外観.....	3
第2章 準備.....	5
2.1 デバイスの充電	5
2.2 電源オン/オフ	5
2.3 操作方式	6
2.4 メニューの内容	6
第3章 SuperScene モードで開始（該当する場合）	9
3.1 SuperSceneモードの選択	9
3.2 （オプション）SuperSceneモードパラメータの設定.....	14
第4章 正確な温度測定.....	16
4.1 温度測定パラメータの設定	16
4.1.1 距離の調整	16
4.1.2 放射率の調整	17
4.1.3 （オプション）その他のパラメータの調整	17
4.2 測定ツールの設定.....	18
4.3 測定ツールの復元.....	18

第5章 アラームの設定.....	19
第6章 表示設定	21
6.1 SuperIRの設定.....	21
6.2 画面輝度の設定	21
6.3 自動回転の設定	21
6.4 画像モードの設定.....	22
6.5 パレットの設定	23
6.6 レベルとスパンの調整.....	23
6.7 色分布の設定	24
6.8 デジタルズームの調整.....	25
6.9 オンスクリーン情報の表示	25
第7章 マクロモードの設定	27
第8章 写真と動画	28
8.1 画像キャプチャー.....	28
8.2 ビデオ録画	30
8.3 アルバムの管理	30
8.4 ファイルの表示	31
8.5 ファイルの管理	32
8.6 ファイルのエクスポート	34
8.6.1 HIKMICRO Viewer経由でエクスポート（該当する場合）	34
8.6.2 PCを介してエクスポート	35
第9章 デバイス接続.....	36
9.1 デバイスのスクリーンをPCにキャスト.....	36
9.2 HIKMICRO Viewerへのデバイスの接続.....	36

9.2.1 Wi-Fi経由の接続（該当する場合）	36
9.2.2 ホットスポット経由の接続（該当する場合）	38
第10章 システム設定	40
10.1 時刻と日付の設定	40
10.2 単位の設定	40
10.3 言語を設定する	40
第11章 メンテナンス	41
11.1 デバイス情報を表示.....	41
11.2 デバイスのアップグレード	41
11.2.1 アップグレードファイルによるデバイスのアップグレード	41
11.2.2 HIKMICRO Viewerを介してデバイスをアップグレード	41
11.3 デバイスの復元	42
11.4 操作ログを保存	42
11.5 ストレージのフォーマット	42
11.6 画面ロックの設定	42
11.6.1 パスワードの設定.....	43
11.6.2 パスワードを変更.....	43
11.6.3 パスワードをリセット	43
11.7 キャリブレーションについて	44
第12章 FAQ	45

第1章 概要

1.1 ご利用の皆様へ

このマニュアルでは、複数のカメラモデルの機能について説明します。同じシリーズでもカメラモデルによって機能が異なるため、このマニュアルにはお使いのカメラモデルに当てはまらない記述や説明が含まれている場合があります。

あるシリーズのすべてのカメラモデルが、このマニュアルに記載されている（または記載されていない）モバイルアプリケーション、ソフトウェア、およびそれらのすべての機能をサポートしているわけではありません。より詳細な情報についてはアプリケーションおよびソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

このマニュアルは定期的に更新されます。そのため、このマニュアルには、最新のファームウェア、モバイルクライアント、およびソフトウェアの新機能に関する情報が含まれていない可能性があります。

1.2 デバイスの説明

ポケットサーマルカメラは、ビジュアル画像とサーマル画像の両方に対応するカメラです。温度測定、ビデオ録画、スナップショット撮影、アラームトリガーを実行できます。Wi-Fi/ホットスポット機能を搭載したモデルは、アプリケーションやソフトウェアクライアントと連携して動作できます。内蔵の高感度IR検出器と高性能センサーが温度差を検出し、リアルタイムで温度を測定します。

このデバイスは使いやすく、人間工学に基づいた設計を採用しています。建物の検査や空調設備はもちろん、電気・機械設備のメンテナンスにも幅広く利用されています。

1.3 主な機能

SuperIR

カメラはSuperIRをサポートし、オブジェクトのアウトラインを強調します。一部のカメ

ラモデルは、ライブビューでリアルタイムのSuperIR画像を表示できます。

SuperScene モード（該当する場合）

カメラは、さまざまな検出対象とシナリオに合わせて複数のシーンモードをサポートしています。一部のシーンモードでは、インテリジェント機能、**Smart SuperScene**がサポートされています。異常検出を支援し、ライブビュー インターフェイスの上にプロンプトを表示できます。

温度測定

カメラはリアルタイムで温度を検出し、画面に表示します。

画像モード

サーマル画像とビジュアル画像を融合して表示することができます。サーマル、融合、PIP、ブレンディング、およびビジュアルが選択可能です。

パレット

カメラは、さまざまなターゲットやユーザーの好みに合わせて複数のカラーパレットをサポートしています。

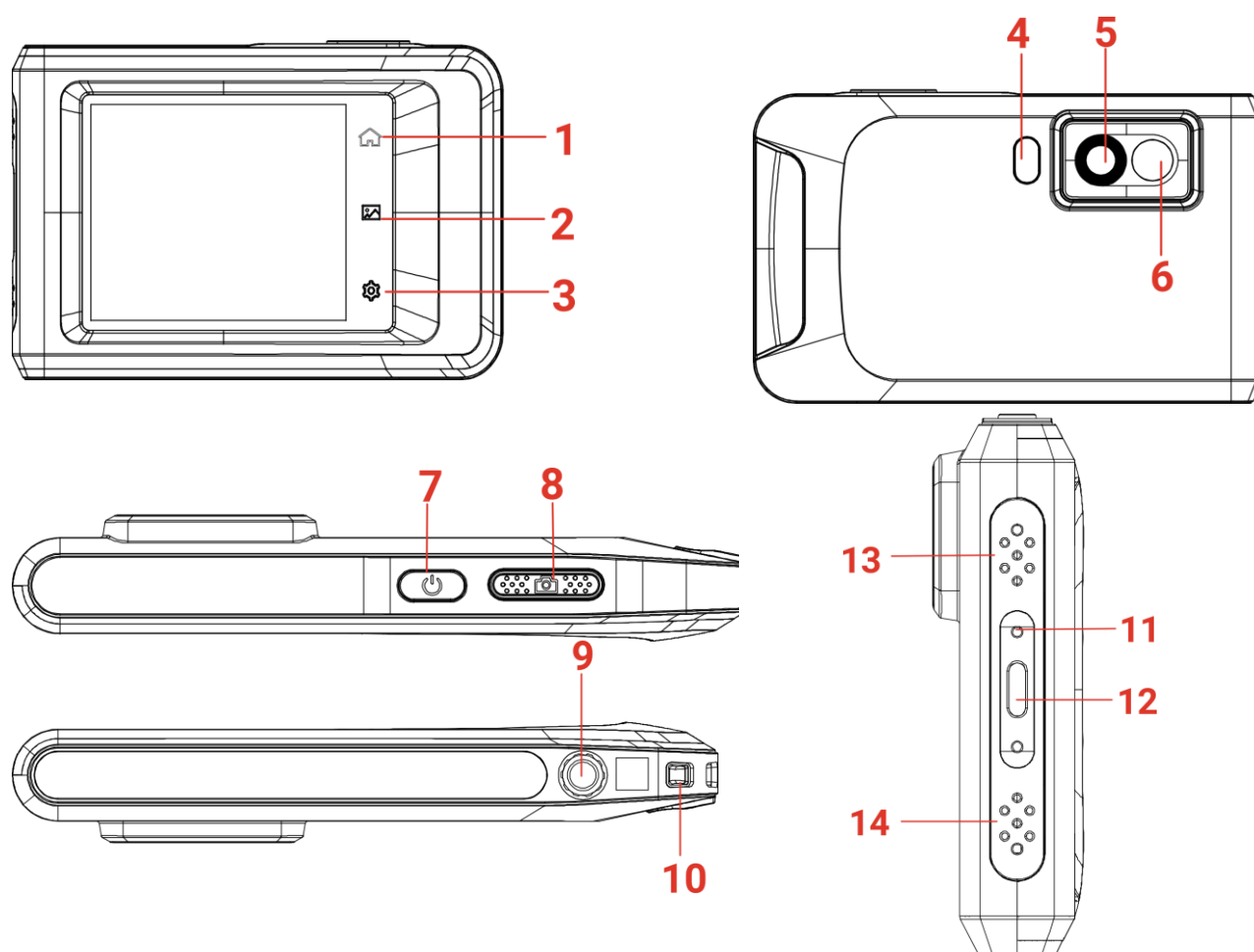
クライアントソフトウェアの接続（該当する場合）



お使いのモデルがWi-Fiとホットスポットをサポートする場合、QRコードをスキャンしてHIKMICRO Viewerアプリをダウンロードし、ライブビュー、スナップショット撮影、動画撮影などを行います。

ファイルを分析するには、PCにHIKMICRO Analyzer
(<https://www.hikmicrotech.com/en/industrial-products/hikmicro-analyzer-software.html>) をダウンロードしてください。

1.4 外観



番号	説明	機能
1	ホームキー	タップするとライブビューインターフェイスに戻ります。
2	ファイルキー	タップするとアルバムに移動します。
3	設定キー	タップすると設定インターフェイスに進みます。
4	フラッシュライト	対象物を照らし、点滅アラームを出力します。
5	サーマルレンズ	サーマル画像を表示します。
6	ビジュアルレンズ	ビジュアル画像を表示します。
7	電源キー	長押し：デバイスの電源オン/オフ。
8	キャプチャーキー	ライブビューで：

番号	説明	機能
		◆ 短押し：スナップショットの撮影/録画の停止。 ◆ 長押し：録画の開始。 メニューモードで： 短押し：ライブビューインターフェイスに戻ります。
9	三脚マウント	三脚を取り付けます。
10	ストラップ取付ポイント	ストラップを取り付けます。
11	インジケーター	デバイスの充電状態を表示します。 ◆ 赤で点灯：正常に充電 ◆ 赤で点滅：充電に異常あり ◆ 緑色で点灯：満充電
12	Type-C インターフェイス	付属の USB ケーブルで、デバイスを充電したり、ファイルをエクスポートすることができます。
13	ブザー	警報音を出力します。
14	マイク	音声録音。

**注意**

本カメラは、画質と測定精度を最適化するために、定期的に自己キャリブレーションを実行します。このプロセスで、画像が短時間静止し、検知器の前でシャッターが動く際に「カチッ」という音が聞こえます。デバイスの調整中は、画面の上部中央に「サンプル調整中...」というプロンプトが表示されます。起動中や、非常に低温または高温の環境では、自己キャリブレーションがより頻繁に実行されます。

第2章 準備

2.1 デバイスの充電

カメラにはバッテリーが内蔵されています。パッケージに付属のUSBケーブルとカメラのType-Cインターフェイスを使用してカメラを充電することをお勧めします。

電源アダプター（別売り）は次の規格を満たす必要があります。

- ◆ 出力電圧/電流：5 VDC/2 A
- ◆ 最小電源出力 10 W

電源インジケータの充電状態を確認します。

- ◆ 赤で点灯：正常に充電
- ◆ 赤で点滅：充電に異常あり
- ◆ 緑色で点灯：満充電



注意

- ◆ 最大充電速度を達成するには、充電器から供給される電力が、無線機器に必要な最小 8W から最大 10W の範囲でなければなりません。
- ◆ カメラを長期間使用せずに過放電した場合は、電源をオンにする前に少なくとも 30 分間充電することをお勧めします。
- ◆ 充電とデータ転送には、パッケージに付属の USB ケーブルを使用することをお勧めします。

2.2 電源オン/オフ

電源オン

 を3秒以上長押しして、デバイスの電源を入れます。デバイスのインターフェイスが安定すると、目標を観察できます。



注意

- ◆ 電源を入れてからデバイスを使用できるようになるまで、30 秒以上かかる場合があります。

電源オフ

デバイスの電源が入っているときに  を約3秒間長押しすると、デバイスの電源が切れます。

自動電源オフ時間の設定

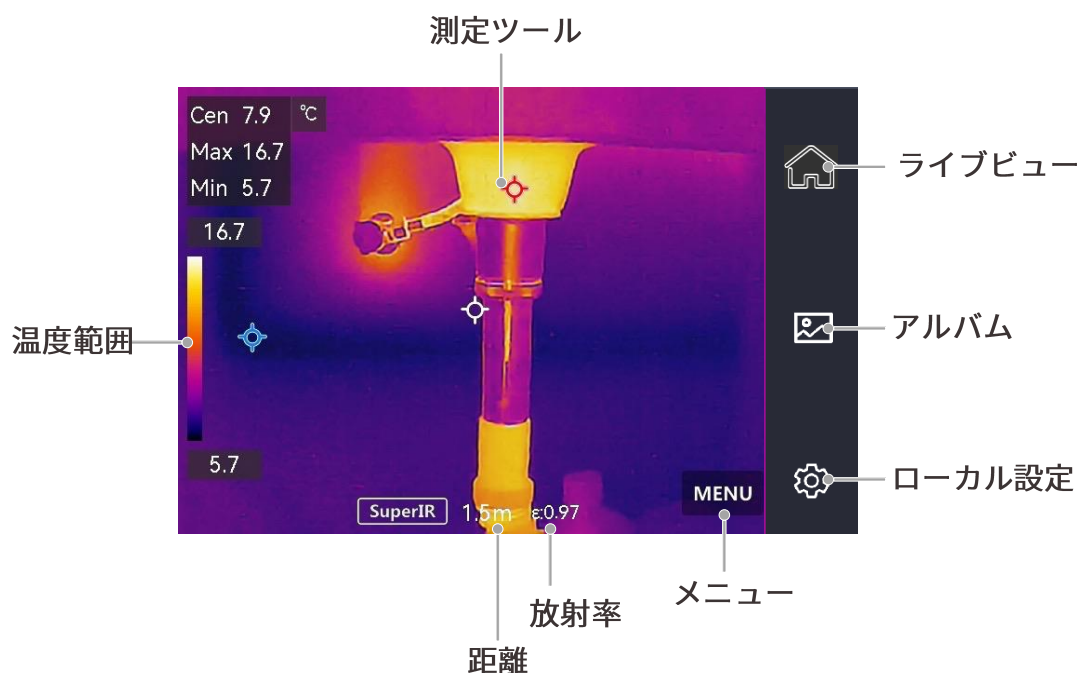
 をタップし、デバイス設定 > 自動電源オフを開き、必要に応じてデバイス自動シャットダウン時間を設定します。

2.3 操作方式

このデバイスは、タッチスクリーン操作に対応しています。画面をタップして、パラメーター設定などの設定を行うことができます。

2.4 メニューの内容

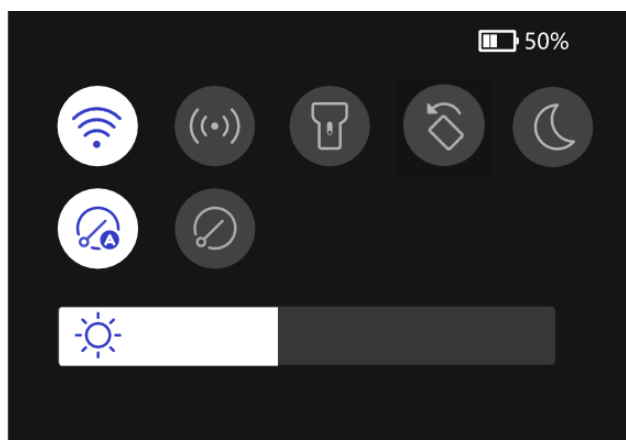
ライブビュー



スワイプダウンメニュー

ライブビューインターフェイスで、画面の上部から下にスワイプしてスワイプダウンメニ

ューを呼び出します。このメニューでは、デバイス機能のオン/オフの切り替え、表示テーマの変更、画面の輝度の調整ができます。



アイコン	説明
	Wi-Fi をオン/オフします。Wi-Fi 設定の手順については、 9.2.1 Wi-Fi 経由の接続 （該当する場合）を参照してください。
	ホットスポットをオン/オフします。ホットスポット設定の手順については、 9.2.2 ホットスポット経由の接続 （該当する場合）を参照してください。
	LED ライトをオン/オフします。
	画面の向きを自動的に調整します。
	デバイスをオンにすると、自動的にフラットフィールド較正（FFC）を実行します。較正中は、デバイスから「カチッ」という音が聞こえ、画面が一時的にフリーズします。
	アイコンをタップすると、デバイスはフラットフィールド較正（FFC）を1回実行します。複雑な環境に適しており、頻繁な自動較正による作業の中断を防ぎます。
	昼と夜のテーマの切り替えがサポートされています。
	画面輝度を調整

**注意**

- ◆ このマニュアルは定期的に更新されるため、インターフェイスは実際のカメラモデルのバージョンと多少異なる場合があります。実際のカメラを参照してください。
- ◆ * Wi-Fi とホットスポットは、一部のモデルでのみサポートされています。お使いのカメラモデルを参照してください。
- ◆ Wi-Fi またはホットスポットのアイコンを押して設定インターフェースを表示します。

第3章 SUPERSCENE モードで開始（該当する場合）

**注意**

SuperScene モードは、シリーズの一部のモデルでのみサポートされます。実際のデバイスとそのソフトウェアバージョンを参照してください。

迅速な異常検出を行うために、SuperScene モードには、さまざまな検出シナリオに対応するためのいくつかのプリセットテンプレートが含まれています。適切なシーンを選択したり、ターゲットに応じてシーンをカスタマイズしたり、必要に応じて温度アラームを設定したりできます。

1. 適切なシーンモードを選択します。詳細については、**3.1 SuperScene モードの選択**を参照してください。
2. （オプション）必要に応じてシーンモードのパラメータを微調整します。詳細については、**3.2 （オプション）SuperScene モードパラメータの設定**を参照してください。
3. （オプション）必要に応じてアラームを設定します。詳細については、**第5章 アラームの設定**を参照してください。
4. ライブビューインターフェイスで検出結果を観察します。

3.1 SuperSceneモードの選択

ライブビューで、 > [SuperScene モード] > [シーン] をタップして、適切なシーンモードを選択します。

**注意**

ほとんどの場合、パラメータのデフォルト値が機能します。必要に応じて関連パラメータを微調整したい場合は、**3.2 （オプション）SuperScene モードパラメータの設定**を参照してください。

水漏れ

建物内の天井、壁、床の漏水を点検します。

Smart SuperScene技術は、水漏れ検出時に異常を迅速に認識するのに役立ちます。

[Smart SuperScene] が有効になっていて水漏れの異常が検出されると、[疑似] と赤いフレームがライブビューインターフェースに表示されます。



 注意

- ◆ (オプション)  >[アラームリンク] をタップして、サウンドまたは点滅アラームを設定します。第 5 章 アラームの設定を参照してください。
- ◆ 漏れ異常のあるエリアの温度差が微妙すぎて認識できない場合などには、報告漏れや誤った報告が発生します。
- ◆ Smart SuperScene 機能に基づいて 2 回目の診断を行うことをお勧めします。
Smart SuperScene 機能のアルゴリズムを更新中です。
- ◆ Smart SuperScene と SuperIR を両方有効にすると、フレームレートが低下します。

断熱

建物の壁や天井の屋内断熱不足を検出するために、一般ユーザーはこのシーンを適用できます。

Smart SuperScene技術は、断熱検出時の異常の迅速な認識に役立ちます。[Smart SuperScene] が有効になっていて、断熱材の異常が検出されると、ライブビューインターフェースに [疑似] または [空気漏れの疑い] と赤い枠が表示されます。

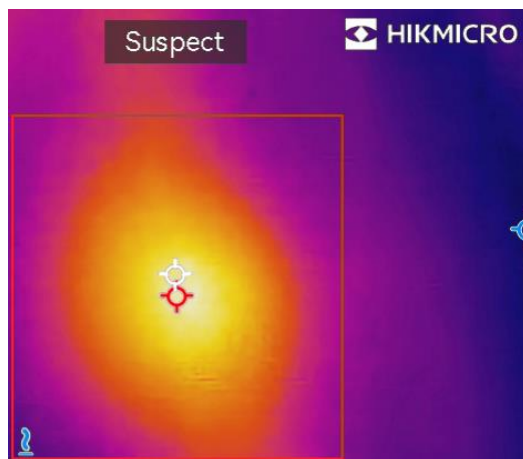
**注意**

- ◆ (オプション)  >[アラームリンク] をタップして、サウンドまたは点滅アラームを設定します。第 5 章 アラームの設定を参照してください。
- ◆ 漏れ異常のあるエリアの温度差が微妙すぎて認識できない場合などには、報告漏れや誤った報告が発生します。
- ◆ **Smart SuperScene** 機能に基づいて 2 回目の診断を行うことをお勧めします。
Smart SuperScene 機能のアルゴリズムを更新中です。
- ◆ **Smart SuperScene** と **SuperIR** を両方有効にすると、フレームレートが低下します。

床暖房

床暖房システムの故障を検知し、観察します。

Smart SuperScene技術は、床暖房検出時の異常の迅速な認識に役立ちます。[**Smart SuperScene**] が有効になっていて、熱異常が検出されると、ライブビューインターフェースに [**疑似**] と赤いフレームが表示されます。



**注意**

- ◆ (オプション)  >[アラームリンク] をタップして、サウンドまたは点滅アラームを設定します。第 5 章 アラームの設定を参照してください。
- ◆ 床暖房の異常箇所の温度差が微妙すぎて認識できない場合や、熱画像の特徴が明らかでない場合は、誤報や検出漏れが発生する可能性があります。
- ◆ **Smart SuperScene** 機能に基づいて 2 回目の診断を行うことをお勧めします。
Smart SuperScene 機能のアルゴリズムを更新中です。
- ◆ **Smart SuperScene** と **SuperIR** を両方有効にすると、フレームレートが低下します。

電氣的な故障

配線、回路、電気部品、終端器などの故障を検知し、観察します。

マクロモード

PCBなどの精密部品の故障を詳細に検知し、観察します。

このモードを選択する前に、マクロレンズを購入してカメラに取り付けてください。

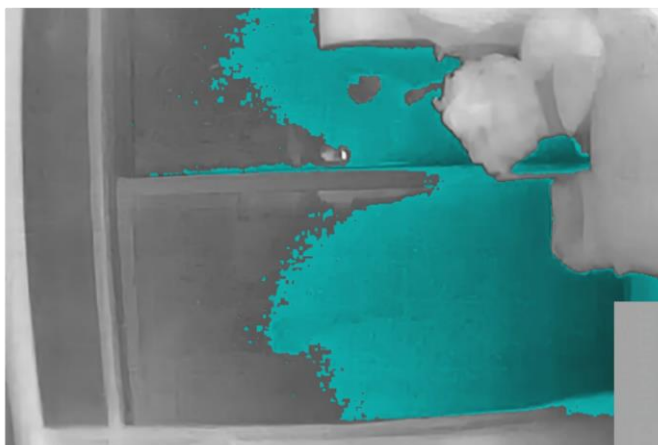
ソーラーパネル

ソーラーパネルの故障を検知し、観察します。

断熱プロ

建物の壁や天井の屋内断熱異常を検知するために、専門ユーザーはこのシーンを適用できます。**[室内温度]**、**[室外温度]**、**[断熱レベル]** といった追加パラメータが必要です。

屋内温度が屋外温度以下の場合、検知された断熱レベルがプリセット値を超えるエリアでは、**[断熱レベル]** がシアン色でマークされます。屋内温度が屋外温度より高い場合、検知された断熱レベルがプリセット値を下回るエリアでは、**[断熱レベル]** がシアン色でマークされます。

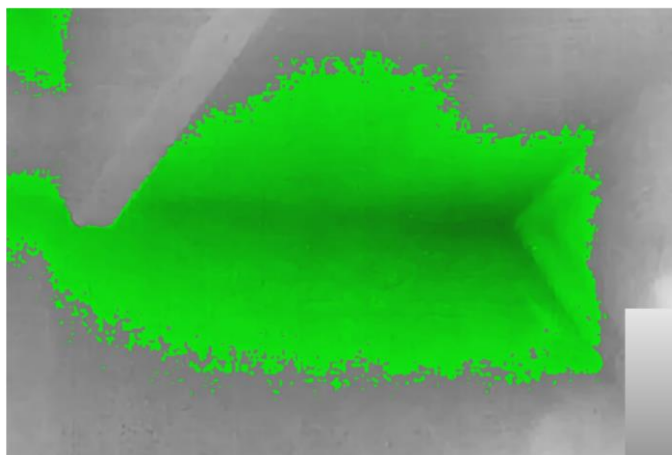
**注意**

- ◆ 屋内温度：現在の屋内温度。
- ◆ 屋外温度：現在の屋外温度。
- ◆ 断熱レベル：0 から 100 までの整数。新しい建物の場合の典型的な値は 60～80% です。

結露

屋内の潜在的な湿気の問題を検査します。**[相対湿度]**、**[周囲温度]**、**[RHしきい値(%)]** を設定することが前提条件です。

検出された相対湿度が **[RHしきい値]** を超えると、結露不足のエリアは緑色でマークされます。

**注意**

- ◆ 相対湿度：現在の相対湿度。
- ◆ 周囲温度：現在の気温。

- ◆ **RH しきい値**：対象物表面の湿度の上限。相対湿度 100%は、空気中の水蒸気が液体の水として凝縮することを意味し（＝露点）、相対湿度が約 70%以上になるとカビが発生する可能性があります。
- ◆ **【相対湿度】**と**【周囲温度】**の値は、湿度計と温度計からそれぞれ取得できます。

カスタム

ユーザーはモードをカスタマイズして、将来使用するために必要な温度測定パラメータを保存できます。**3.2（オプション）SuperSceneモードパラメータの設定**を参照してください。

3.2（オプション）SuperSceneモードパラメータの設定

より正確な検出結果を得るために、 > **[SuperScene Mode]** で関連パラメータを微調整することができます。



注意

パラメータはシーンによって異なります。

パラメータ	説明
放射率	ターゲットに応じて放射率を設定します。
距離	カメラと観測対象の間の距離を設定します。
パレット	熱画像は温度差によって作成されます。パレットは温度を表す色です。ユーザーは好みの色に応じてパレットを選択できます。
レベルスパン	左側の温度スケールで、画像内の色と温度の関係を参照できます。 6.6 レベルとスパンの調整 を参照してください。
温度範囲	温度測定範囲を選択します。自動切替モードでは、デバイスは温度を検出し、温度測定範囲を自動的に切り替えることができます。

アラーム	対象物の温度が設定されたアラームルールをトリガーすると、設定された方法でユーザーに通知できます。第 5 章アラームの設定を参照してください。
色分布	用途シーンに合わせて、[リニア] および [ヒストグラム] モードを選択できるため、より詳細な情報を表示できます。6.7 色分布の設定を参照してください。

第4章 正確な温度測定

対象物のより正確でリアルタイムの温度を取得するために、ユーザーは必要に応じてスポットツールと高温アラームを設定できます。

1. **SuperScene** モードのあるモデルの場合は、測定設定を高速化するには、適切なシーンを選択してください。第3章 **SuperScene** モードで開始（該当する場合）を参照してください。
2. ライブビューの左上隅で温度の値を確認します。精度が十分でない場合は、温度測定パラメータを微調整します。4.1 温度測定パラメータの設定を参照してください。
3. スポットツールを設定して、最高/最低/中心温度スポットのリアルタイム温度を取得します。4.2 測定ツールの設定を参照してください。
4. （オプション）アラームを設定します。第5章 アラームの設定を参照してください。
5. ライブビューインターフェイスで温度結果を観察します。

4.1 温度測定パラメータの設定

4.1.1 距離の調整

カメラと観測対象物間の距離は、温度結果の精度に影響します。温度を測定する前に、まず距離を設定する必要があります。

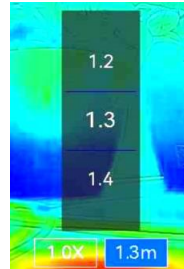
カメラと対象物間のおおよその距離に応じて事前に定義されたテンプレートを使用する場合は、**[近景]/[中央]/[遠景]** モードを利用できます。

より正確な結果を求める場合は、**[カスタム]** モードを利用できます。

1. ライブビューで、 > **[サーマル設定]** > **[距離]** をタップします。
2. 距離モードを選択します。

注意

- ◆ ユーザーは、距離ホイールをスクロールして、ライブビューで温度測定距離をすばやく調整できます。



- ◆ SuperScene モードのあるモデルの場合は、距離は [SuperScene モード] メニュー内と設定インターフェースの両方で調整できます。設定インターフェースで調整したパラメータは、[SuperScene モード] メニューでも同様に変更されます。

4.1.2 放射率の調整

放射率は測定精度に直接影響するため、対象物質の特性に応じて再調整する必要があります。

1. ライブビューで、 > [サーマル設定] > [放射率]。
2. プリセット値を選択するか、カスタマイズします。

注意

SuperScene モードのあるモデルの場合は、放射率は [SuperScene モード] メニュー内と設定インターフェースの両方で調整できます。設定インターフェースで調整したパラメータは、[SuperScene モード] メニューでも同様に変更されます。

4.1.3 （オプション）その他のパラメータの調整

温度測定の精度を向上させるには、温度測定パラメータを微調整します（ > [サーマル設定]）。

パラメータ	説明
反射温度	シーン内に高温の物体（対象物以外）があり、対象物の放射率が低い場合は、対象物は高温の物体を反射し、精度が低下します。 反射温度を高温物体の値として使用して、干渉を打ち消してください。
湿度	カメラが置かれている現在の環境の湿度を設定します。

4.2 測定ツールの設定

現在のシーンの最低温度、最高温度、中心温度を測定する測定ツールを設定することができます。

1. メニューをタップし、を選択します。
2. 必要に応じて、タップして温度測定ツールを選択します。[最大] 、[最小] 、および [中心]  が選択可能です。
3. 戻るをタップして保存し、終了します。



注意

- ◆ 画面左上には、最低温度、最高温度、中心温度が表示されます。削除するには、ツールをもう一度タップします。
- ◆ 温度測定の結果が非常に不正確な場合は、 > [デバイス設定] > [SuperTemp (ベータ)] で [SuperTemp (ベータ)] ボタンをオフにします。SuperTemp (ベータ)機能は一部のモデルでのみサポートされます。

4.3 測定ツールの復元

 > [デバイス設定] > [デバイスの初期化] > [すべての測定ツールを削除] で、設定されたすべての測定ツールを消去できます。



注意

パレットもデフォルト設定に復元されます。

第5章 アラームの設定

**注意**

一部のシーンのみアラームをサポートします。実際のデバイスを参照してください。

目標の温度が設定されたアラームルールに合致すると、デバイスは、音声警報や点滅アラームを発するなど、設定されたアクションを実行します。

SuperScene モードがあるモデルの場合：

1.  > **[SuperScene モード]** > **[シーン]** でシーンモードを選択します。
2. SuperScene モード設定インターフェースで、**[アラーム]** をタップして **[アラーム設定]** インターフェースを表示します。
3. **[温度アラーム]** ボタンを有効にします。
4. 測定を選択して、アラームルールを設定します。必要に応じて、**[以上]** または **[以下]** を選択します。
5. **[アラームしきい値]** をタップし、ホイールをスクロールしてしきい値温度を設定します。
6. **<** をタップして保存し、閉じます。

**注意**

ターゲットの温度が設定値より高い場合、ターゲットは赤色になり、ターゲットの温度が設定値より低い場合、ターゲットは青色になります（特定のモデルでのみサポートされます）。

7. （オプション） > **[アラームリンク]** をタップして、サウンドまたは点滅アラームを設定します。

**注意**

[アラームリンク] は、トリガーされたすべてのアラームで機能する共通パラメータです。

SuperScene モードのないモデルの場合：

1.  > **[サーマル設定]** > **[アラーム設定]** をタップします。
2. **[温度アラーム]** ボタンを有効にします。

3. 測定を選択して、アラームルールを設定します。必要に応じて、**[以上]** または **[以下]** を選択します。
4. **[アラームしきい値]** をタップし、ホイールをスクロールしてしきい値温度を設定します。
5. **<** をタップして保存し、閉じます。

**注意**

目標温度が **[アラームしきい値]** の設定値を超えた場合、ライブビューの左上にある **[最大]** 温度の行が赤でマークされます。

6. (オプション) **[アラームリンク]** に移動して、サウンドやフラッシュライトによるアラームを設定します。

**注意**

[アラームリンク] は、トリガーされたすべてのアラームで機能する共通パラメータです。

第6章 表示設定

6.1 SuperIRの設定

このデバイスはライブビュー（一部のモデル）およびスナップショットで **[SuperIR]** をサポートしており、オブジェクトのアウトラインを強調して画像をより適切に表示できます。実際の効果は実際の製品によって異なります。

- ◆ ライブビュー：一部のモデルでは、**SuperIR** がオンのときにライブビューでオブジェクトのアウトラインを強調できます。
- ◆ 撮影した画像：**SuperIR** がオンになった後、画像内のオブジェクトのアウトラインが強調されます。



注意

SuperIR はデフォルトでオンになっています。⚙️ > [キャプチャ設定] > [SuperIR] に移動して、オフに切り替えます。

6.2 画面輝度の設定

- ◆ ライブビューで、⚙️ > [表示設定] > [画面の輝度] をタップして、画面の輝度を調整します。
- ◆ または、スワイプダウンメニューで、☀️ をタップし、ドラッグしてから画面の輝度を調整します。



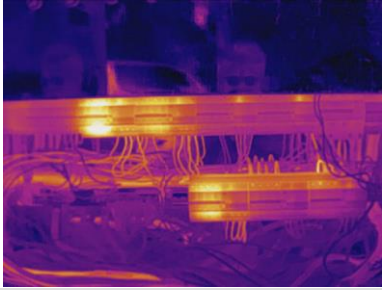
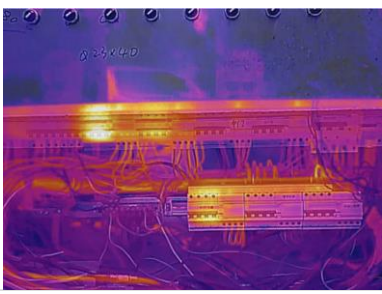
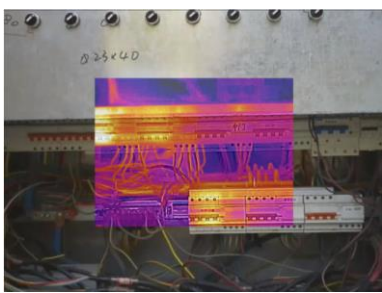
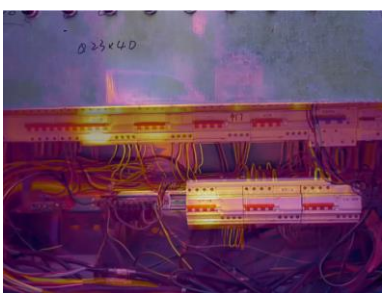
6.3 自動回転の設定

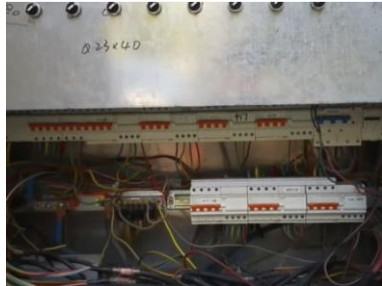
- ◆ ライブビューで、⚙️ > [デバイス設定] > [自動回転] をタップして、この機能をオンにします。
- ◆ または、スワイプダウンメニューで 🔄 自動回転を有効にします

6.4 画像モードの設定

デバイスのサーマル/ビジュアルビューを設定できます。サーマル、融合、PIP、ブレンディング、およびビジュアルが選択可能です。

1. メニューをタップし、を選択します。
2. アイコンをタップして、画像モードを選択します。

画像モード	説明	例
 サーマル	サーマルモードでは、デバイスはサーマルビューを表示します。	
 融合	融合モードでは、デバイスはサーマルオブジェクトの画像を視覚的な輪郭とともに表示します。	
 PIP	PIP（ピクチャインピクチャ）モードでは、デバイスは可視光ビュー内にサーマルビューを表示します。PIPのサイズ、距離、デジタルズームを調整することができます。	
 ブレンディング	ブレンディングモードでは、デバイスはサーマルチャンネルとビジュアルチャンネルを混合したビューを表示します。ビジュアルとサーマルの比率を変更するには、ビジュアルとサーマルのレベルを選択します。	

画像モード	説明	例
 ビジュアル ル	ビジュアルモードでは、視覚オブジェクトの画像のみが表示されます。	

3. 戻るをタップして終了します。

6.5 パレットの設定

熱画像は温度差によって作成されます。パレットは温度を表す色です。パレットを使用すると、任意の色を選択できます。

- ◆ ライブビューで [メニュー] >  をタップして、適切なパレットを選択します。
- ◆ または、 > [SuperScene モード] > [シーン] をタップして適切なシーンモードを選択し、シーン設定インターフェースの [パレット] をタップして適切なパレットを選択します。

6.6 レベルとスパンの調整

表示温度範囲を設定すると、パレットは範囲内のターゲットに対してのみ機能するようになります。レベルとスパンのパラメーターを調整すると、画像コントラストが改善されます。

1. 適切なパレットを選択します。6.5 パレットの設定を参照してください。
2. レベルとスパンの設定：
 - ◆ ライブビュー：[メニュー] >  をタップします。
 - ◆ SuperScene 設定インターフェース： > [SuperScene モード] > [レベルとスパン] をタップします。
3.  [自動] または  [手動] 調整を選択します。



自動

を選択します。デバイスは、表示温度範囲を自動的に調整します。

- 1) 画面上のエリアタップする。領域の周囲に円が表示されます。領域の詳細情報ができる限り多く表示されるように、表示温度範囲が再調整されます。
- 2) 温度スケールの最小値/最大値をタップして、値をロックまたはロック解除します。
- 3) ホイールをスクロールし、最大温度と最低温度をそれぞれ微調整します。



手動



注意

最小温度と最大温度の両方がロック解除されている場合、ホイールをスクロールすると、最小温度と最大温度が同時に調整されます。

- 4) 画面下部の【永久保存】または【一時保存】をタップすることができます。
- ◆ 永久保存：デバイスを再起動した後も、現在の手動モード設定は保持されます。
 - ◆ 一時保存：再起動後、現在の手動モード設定は保持されず、デバイスは自動モードに戻ります。

6.7 色分布の設定



注意

この機能は 自動レベルとスパンでのみサポートされます。

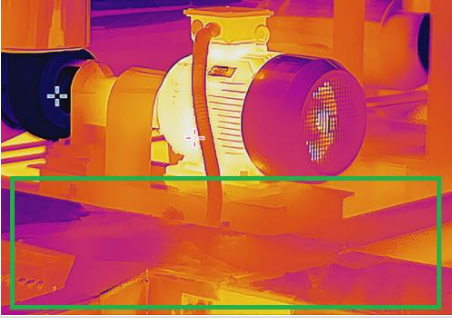
色分布機能により、自動レベルとスパンでさまざまな画像表示効果が得られます。さまざまなアプリケーションシーンに合わせて、リニアおよびヒストグラムの色分布モードを選択できます。

SuperScene モードがあるモデルの場合：

> [SuperScene モード] > [色分布] に移動し、色分布モードを選択します。

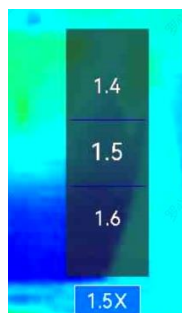
SuperScene モードのないモデルの場合：

> [キャプチャ設定] > [色分布] に移動し、色分布モードを選択します。

モード	説明	例
リニア	低温の背景にある小さな高温の対象物を検出し、ケーブルコネクタなどの高温の対象物の詳細を強調して表示します。	
ヒストグラム	高温エリア内の小さな低温の対象物を検出し、温度差を強調して、低温の物体の詳細（亀裂など）を記録します。	

6.8 デジタルズームの調整

1. ライブビューインターフェースをタップして、デジタルズームフレームを呼び出します。
2. デジタルズームフレームをタップします。
3. 必要に応じてデジタルズーム値を選択します。
4. 画面をタップして保存し、終了します。



6.9 オンスクリーン情報の表示

⚙️ > [表示設定] に移動し、オンスクリーン情報表示を有効にします。

◆ 時刻と日付：デバイスの時刻と日付です。

- ◆ パラメーター：目標の放射率、温度単位などの、温度測定パラメーターです。
- ◆ ブランドロゴ：ブランドロゴは画像上にメーカーロゴを重ね合わせたものです。
- ◆ 温度スケール：画面の左側にパレットバーと温度範囲を表示します。

第7章 マクロモードの設定

マクロモードでは、非常に小さな被写体に極端に接近してピントを合わせることができ、標準レンズに比べ、被写体を（最終的な画像でも）拡大してとらえることができます。

- ◆ SuperScene モードがあるモデルの場合、 > [SuperScene モード] > [シーン] > [マクロモード] に移動してモードを選択し、必要に応じて関連パラメータを調整します。

第3章 SuperScene モードで開始（該当する場合）を参照してください。

- ◆ SuperScene モードのないモデルの場合は、次の手順に従ってください。

始める前に

- ◆ この機能を使用する前にマクロレンズを取り付けます。
- ◆ マクロレンズはパッケージに含まれていません。別途購入してください。

1.  > [キャプチャ設定] > [マクロモード] に移動します。
2.  をタップして機能を有効にします。

注意

- ◆ マクロモードを無効にすると、放射率だけが変更できます。距離、画像モード、測定範囲などのパラメータは変更できません。
- ◆ この機能を無効にすると、パラメーターは、以前の設定値に戻り、測定範囲は自動切り替えに設定されます。

第8章 写真と動画

デバイスはビデオを録画し、スナップショットを撮影することができます。ファイルはローカルアルバムに保存されます。



注意

- ◆ デバイスにメニューが表示されている間のキャプチャーまたは録画はサポートされていません。
- ◆ デバイスが PC に接続されている間のキャプチャーまたは録画はサポートされていません。
- ◆  > [デバイス設定] > [デバイスの初期化] > [ストレージのフォーマット] をタップし、必要に応じてストレージを初期化します。

8.1 画像キャプチャー

ライブビューでを押すと、スナップショットが撮影されます。暗い場所でスワイプダウンメニューからフラッシュライトを有効にすることができます。

必要に応じて、 > [キャプチャ設定] で、次のパラメーターを設定することもできます。

パラメータ	説明
SuperIR	撮影する前に SuperIR を有効にして、撮影した画像のオブジェクトのアウトラインを強調します。
可視画像の保存 および可視画像解像度	別途可視画像を保存する必要がある場合は、まず [可視画像解像度] を設定し、[可視画像の保存] を有効にします。
キャプチャモード	◆ 1 枚の画像を撮影：を 1 回押すと、1 枚の画像が撮影されます。 ◆ スケジュールキャプチャー：スケジュールキャプチャーの[間隔]（取得される各スナップショットの時間間隔）と[数]（1 つのロールで取得されるスナップショットの数、1～10,000 の範囲）を設定し

パラメータ	説明
	ます。ライブビューで📷を押すと、カメラは設定された間隔で設定された数の画像を撮影します。📷を再度押すと、撮影が停止します。
保存前に編集	1 枚の画像を撮影モードで、撮影した画像をすぐに編集する必要がある場合は、保存前に編集を有効にします。 ◆ テキストメモ：テキストメモを選択し、編集ページに移動します。画面をタップして内容を入力し、✓を押して保存します。 ◆ QR コードメモ： 1) QR コードメモをタップすると、デバイスはスキャンモードに移行します。 2) スキャンフレームを QR コードに向けます。デバイスはコードを読み取り、コード情報を保存します。 3) オプション: スキャンに失敗した場合は、プロンプトに従ってソフトキーボードを使用してコード（アセット ID）を入力できます。
ファイル名ヘッダー	保存したファイルの命名ルールを設定します。デフォルトの画像の命名方法は、ファイル名ヘッダー+ 保存時刻です。ファイル名ヘッダーは設定可能です。保存時刻は、保存が実行されたときのデバイスのシステム時刻です。
ファイル命名	ファイルには、タイムスタンプまたは番号付け（ファイル名のヘッダー + シーケンス番号）に基づいて名前を付けることができます。



注意

- ◆ [1 枚の画像をキャプチャ] の場合、[保存前に編集] が有効でない場合、ライブ画像はフリーズし、デフォルトの保存アルバムに保存されます。保存前に編集が有効になっている場合、デバイスは画像編集インターフェイスに移動します。
- ◆ スケジュールキャプチャーの場合、ライブビューにカウンターが表示され、完了した撮影の枚数が示されます。

次にすべきこと

- ◆  をタップしてアルバムに移動し、ファイルとアルバムを表示および管理します。操作手順については、**8.3 アルバムの管理**と **8.5 ファイルの管理**を参照してください。
- ◆ 本器をPCに接続して、ローカルファイルをアルバムにエクスポートすると、その他の用途に使用することができます。**8.6 ファイルのエクスポート**を参照してください。

8.2 ビデオ録画

始める前に

暗い場所でスワイプダウンメニューからフラッシュライトを有効にすることができます。

1. （オプション）ライブビューで、 をタップして、[キャプチャ設定] > [音声録音] の順に移動して、ビデオ録画中のサウンドのオン/オフを切り替えます。
2. ライブビューインターフェイス上で を押し込んだ状態で保持すると、録画が開始されます。録画アイコンとカウントダウンがインターフェイスに表示されます。
3. 終了するには、 を一度押して録画を停止します。録画されたビデオは自動的に保存されます。
4. オプション:  > [キャプチャ設定] に移動し、ビデオタイプを選択します。
 - ◆ MP4 (.mp4)：デバイスでのビデオファイルの再生、移動、削除が実行できます。
 - ◆ 放射測定ビデオ (.hrv)：デバイスでのビデオファイルの移動および削除を実行できます。

8.3 アルバムの管理

記録された画像/ビデオファイルはアルバムに保存されます。新しいアルバムの作成、アルバムの名前の変更、デフォルトアルバムの変更、アルバム間でのファイルの移動、およびアルバムの削除を行うことができます。

タスク	操作
新規アルバムの作成	1)  をタップしてアルバムに移動します。 2)  をタップして新規アルバムを追加します。

- 3) アルバム名を入力するためのソフトキーボードが表示されます。
- 4)  をタップして終了します。

**注意**

新しく作成されたアルバムはデフォルトの保存先アルバムになり、アルバムリストの一番上に表示されます。

アルバムの名前変更

- 1)  をタップしてアルバムに移動します。
- 2) 名前を変更するアルバムを選択します。
- 3)  をタップして名前を変更を選択します。ソフトキーボードが表示されます。
- 4)  をタップして古い名前を削除し、アルバムの新しい名前を入力します。
- 5)  をタップして終了します。

デフォルトの保存アルバムの変更

- 1)  をタップしてアルバムに移動します。
- 2) デフォルトの保存先アルバムとして使用するアルバムを選択します。
- 3)  をタップし、デフォルトの保存先アルバムとして設定を選択します。

**注意**

デフォルトの保存先アルバムはアルバムリストの一番上に表示されます。

アルバムの削除

- 1)  をタップしてアルバムに移動します。
- 2) 削除したいビデオを選択してください。
- 3)  をタップして [削除] を選択します。インターフェイス上にダイアログボックスが表示されます。
- 4) OK をタップしてアルバムを削除します。

**注意**

アルバムを削除すると、アルバム内のファイルも削除されます。必要なファイルは、他のアルバムに移動してください。手順については **8.5 ファイルの管理** を参照してください。

8.4 ファイルの表示

1. をタップしてアルバムに移動します。
2. タップして目的のアルバムを選択します。
3. タップしてビデオまたはスナップショットを選択し、開きます。
4. 画像またはビデオをタップし、をタップすると詳細情報が表示されます。

**注意**

- ◆ ファイルは時間順に並べ替えられます。一番新しいファイルが上に来ます。直近のスナップショットやビデオが見つからない場合、デバイスの日時設定を確認してください。手順については、**10.1 時刻と日付の設定**を参照してください。ファイルを表示している時に、 または  をタップすると、他のファイルに切り替えることができます。
- ◆ キャプチャしたスナップショットまたはビデオに含まれる詳細については、PC 分析ツールをダウンロードしてインストールすることで分析できます。

8.5 ファイルの管理

記録したファイルを移動、削除、編集したり、ファイルにメモを追加することができます。

タスク	操作
ファイルの削除	1) をタップしてアルバムに移動します。 2) タップして削除するファイルが保存されているアルバムを選択します。 3) アルバム内でタップして、削除するファイルを表示します。 4) 画面をタップして下のメニューバーを表示して、をタップします。インターフェイス上にプロンプトボックスが表示されます。 5) OK をタップしてファイルを削除します。
複数ファイルの削除	1) をタップしてアルバムに移動します。 2) タップして削除するファイルが保存されているアルバムを選択します。

タスク	操作
	3) アルバム内で  をタップして、削除するファイルを選択します。 4)  をタップします。インターフェイス上にプロンプトボックスが表示されます。 5) OK をタップしてファイルを削除します。
ファイルの移動	1)  をタップしてアルバムに移動します。 2) タップして移動するファイルが保存されているアルバムを選択します。 3) アルバム内でタップして、移動するファイルを表示します。 4) ファイルをタップして下のメニューバーを表示して、 を選択します。アルバムリストが表示されます。 5) タップして移動先のアルバムを選択します。
複数ファイルの移動	1)  をタップしてアルバムに移動します。 2) タップして移動するファイルが保存されているアルバムを選択します。 3) アルバム内で  をタップして、移動するファイルを選択します。 4)  をタップします。アルバムリストが表示されます。 5) タップして移動先のアルバムを選択します。
ファイルへのテキストメモの追加	1)  をタップしてアルバムに移動します。 2) タップして編集するファイルが保存されているアルバムを選択します。 3) アルバム内でタップして、編集するファイルを表示します。 4) 画面をタップして下のメニューバーを表示して、 をタップします。ソフトキーボードが表示されます。 5) 画面をタッチしてテキストメモを入力します。 6)  をタップして終了します。

タスク	操作
	次にすべきこと 編集した写真を開いて、テキストメモを表示できます。
ファイルへのQRコードメモの追加	1)  をタップしてアルバムに移動します。 2) タップして編集するファイルが保存されているアルバムを選択します。 3) アルバム内でタップして、編集するファイルを表示します。 4) 画面をタップして下のメニューバーを表示して、 をタップします。スキャン枠が表示されます。 5) スキャンフレームを QR コードに向けます。デバイスはコードを読み取り、コード情報を保存します。 6) オプション: スキャンに失敗した場合は、プロンプトに従ってスクリーンキーボードを使用してコード情報（アセット ID）を入力します。
 注意	

  をタップし、 をタップして、アルバム内のすべてのファイルを選択/選択解除します。

8.6 ファイルのエクスポート

8.6.1 HIKMICRO Viewer経由でエクスポート（該当する場合）

1. HIKMICRO Viewer を起動し、デバイスを追加します。9.2 HIKMICRO Viewer へのデバイスの接続を参照してください。
2. アプリのデバイス上のファイルを選択して、デバイス上のアルバムにアクセスします。
3. ファイルを選択し、ダウンロードをタップしてローカルのアルバムに保存します。

8.6.2 PCを介してエクスポート

1. 付属の USB ケーブルを使用してデバイスを PC に接続し、デバイス上のプロンプトで **USB ドライブモード** を選択します。**USB ドライブモード** では、スクリーンキャストはサポートされていません。
2. 検出されたディスクを開き、動画またはスナップショットをコピーして PC に貼り付けて、ファイルを表示します。
3. PC からデバイスを取り外します。

**注意**

初回接続時にドライバーが自動的にインストールされます。

第9章 デバイス接続

デバイスを携帯電話やコンピューター上の特定のアプリケーションまたはソフトウェアクライアントに接続すると、携帯電話やコンピューター経由でカメラのリアルタイム画像を閲覧したり、ビデオを録画したり、スナップショットをキャプチャしたりできます。

9.1 デバイスのスクリーンをPCにキャスト

デバイスは、HIKMICRO AnalyzerによるPCへの画面キャストをサポートしています。デバイスのライブビューをPCにキャストしたり、スナップショットを撮ったり、クライアント経由でビデオを録画したりできます。

当社のWebサイト (www.hikmicrotech.com) をご覧いただくか、当社のテクニカルサポートまたはカスタマーサービスチームにお問い合わせいただいてインストールパッケージを入手し、HIKMICRO Analyzerをダウンロードしてインストールしてください。

具体的な接続方法や詳しい操作方法については、HIKMICRO Analyzer クライアントのユーザーマニュアルを参照してください。

9.2 HIKMICRO Viewerへのデバイスの接続

ホットスポットまたはWi-Fi経由でデバイスをHIKMICRO Viewerに接続すると、携帯電話で画像を表示したり、スナップショットをキャプチャしたり、ビデオを録画したりできます。

9.2.1 Wi-Fi経由の接続（該当する場合）

始める前に

以下のQRコードをスキャンし、お使いのスマートフォンにHIKMICRO Viewerをダウンロードしてインストールします。



Android

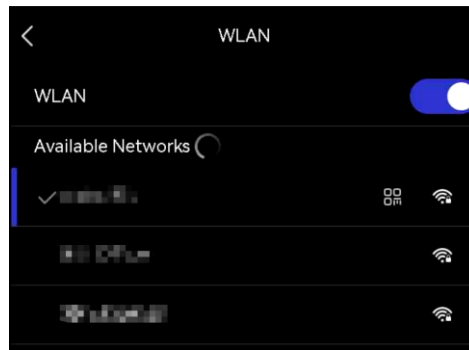


iOS

**注意**

- ◆ パスワードでスペースをタップしないでください。パスワードが正しく入力されない可能性があります。
- ◆  をタップして、パスワードフィールドにパスワードを入力してください。

1.  > [デバイス設定] から [ネットワーク アクセス] ボタンをオンにします。これは WLAN 接続の前提条件です。
2. お使いのデバイスを Wi-Fi ネットワークに接続してください。
 - 1) ライブビューで  をタップして、[デバイス設定] > [WLAN] に移動します。
 - 2)  をタップして Wi-Fi を有効にすると、検知された Wi-Fi がリストされます。
 - 3) 接続する Wi-Fi を選択します。ソフトキーボードが表示されます。
 - 4)  をタップして設定を保存します。
3. デバイスを HIKMICRO Viewer に追加します。
 - ◆ Wi-Fi パスワードの使用。
 - 1) 携帯電話でデバイスと同じ Wi-Fi ネットワークを選択し、パスワードを入力して参加します。
 - 2) HIKMICRO Viewer を起動します。
 - 3)  > [デバイスの追加] > [接続] をタップして、デバイスを追加します。
 - 4) デバイスの接続 PIN コードを確認します。
 - ◆ Wi-Fi QR コードのスキャン。
 - 1) デバイス上の接続された Wi-Fi の横にある  をタップして、Wi-Fi QR コードを表示します。
 - 2) HIKMICRO Viewer を起動します。
 - 3)  > [QR コードのスキャン] をタップして、スキャン枠をコードに合わせます。
 - 4) デバイスの接続 PIN コードを確認します。



9.2.2 ホットスポット経由の接続（該当する場合）

始める前に

以下のQRコードをスキャンし、お使いのスマートフォンにHIKMICRO Viewerをダウンロードしてインストールします。



Android



iOS

1.  > [デバイス設定] から [ネットワーク アクセス] ボタンをオンにします。これはホットスポット接続の前提条件です
2. ライブビューで  をタップして、[デバイス設定] > [ホットスポット] の順に移動します。
3.  をタップしてホットスポット機能を有効にします。ホットスポット名は、デバイスのシリアル番号の末尾 9 桁です。
4. デバイスのホットスポットを設定し、携帯電話に接続します。
◆ ホットスポットパスワードの使用：
 - 1) [パスワードの設定] をタップします。ソフトキーボードが表示されます。
 - 2) 画面をタップして、ホットスポットにパスワードを設定します。
 - 3)  をタップして終了します。
 - 4) スマートフォンで Wi-Fi 機能を有効にし、接続先のデバイスのホットスポットを検索します。

- 5) HIKMICRO Viewer を起動します。
 - 6) + > [デバイスの追加] > [接続] をタップして、デバイスを追加します。
 - 7) デバイスの接続 PIN コードを確認します。
- ◆ ホットスポット QR コードの使用：
- 1) HIKMICRO Viewer を起動して、+ > [QR コードのスキャン]をタップします。
 - 2) スマートフォンのカメラをデバイスのホットスポットの QR コードに向けます。
 - 3) デバイスの接続 PIN コードを確認します。

**注意**

- ◆ パスワードでスペースをタップしないでください。パスワードが正しく入力されない可能性があります。
- ◆ パスワードは 8 桁以上で、数字と文字が含まれている必要があります。
- ◆  をタップして、パスワードフィールドにパスワードを入力してください。

第10章 システム設定

10.1 時刻と日付の設定

1.  > [デバイス設定] > [時刻と日付] に移動します。
2. 日付と時刻を設定します。
3. < をタップして保存し、終了します。



 > [表示設定] に移動し、時刻と日付の表示のオン/オフを切り替えます。

10.2 単位の設定

-  > [表示設定] > [単位] に移動し、温度単位と距離単位を設定します。

10.3 言語を設定する

-  > [デバイス設定] > [言語] に移動し、必要な言語を選択します。

第11章 メンテナンス

11.1 デバイス情報を表示

 > [デバイス設定] > [バージョン情報] に移動して、デバイス情報を表示します。

11.2 デバイスのアップグレード

11.2.1 アップグレードファイルによるデバイスのアップグレード

始める前に

- ◆ 公式サイト <http://www.hikmicrotech.com> からアップグレードファイルをダウンロードしてください。もしくは、まずカスタマーサービスとテクニカルサポートに連絡してアップグレードファイルを入手してください。
 - ◆ デバイスのバッテリーが満充電になっていることを確認してください。
 - ◆ 誤ってアップグレードが中断しないように、オートパワーオフ機能がオフになっていることを確認してください。
1. 付属の USB ケーブルを使用してデバイスを PC に接続し、デバイス上のプロンプトで USB モードとして **USB ドライブ** を選択します。
 2. アップグレードファイルを解凍してデバイスのルートディレクトリにコピーします。
 3. PC からデバイスを取り外します。
 4. デバイスを再起動すると、自動的にアップグレードされます。アップグレードのプロセスがメインインターフェイスに表示されます。



注意

アップグレード後、デバイスは自動的に再起動します。現在のバージョンは、 > [デバイス設定] > [バージョン情報] で確認できます。

11.2.2 HIKMICRO Viewerを介してデバイスをアップグレード

始める前に

お使いのスマートフォンにHIKMICRO Viewerがインストールされていることを確認してく

ださい。手順については、9.2 HIKMICRO Viewerへのデバイスの接続を参照してください。

1. スマートフォンで HIKMICRO Viewer を起動します。
2. デバイスをアップグレードします。次のパスの1つを選択できます。
 - ◆ ホーム画面で、[デバイスアップグレード]>[アップデートの確認] をタップします。
 - ◆ ホーム画面で、[デバイス情報]>[デバイスアップグレード]>[アップデートの確認] をタップします。

11.3 デバイスの復元

 [デバイスの初期化]>[デバイスの復元] を開き、デバイスを初期化し、デフォルト設定を復元します。

11.4 操作ログを保存

デバイスは、トラブルシューティングの目的でのみ、操作ログを収集し、ストレージに保存できます。この機能は、 > [デバイス設定]>[ログを保存] でオン/オフを切り替えることができます。

付属のUSBケーブルを使用してカメラをPCに接続し、必要に応じてカメラのUSBモードとして、[USBドライブ] を選択して、カメラのルートディレクトリに操作ログ（.log）をエクスポートできます。

11.5 ストレージのフォーマット

初めて使用する前にストレージをフォーマットしてください。

 をタップし、デバイス設定 > デバイスの初期化 > ストレージのフォーマットに移動して、デバイスメモリを初期化します。

11.6 画面ロックの設定

ユーザーは画面ロックを使用して情報セキュリティを保護することができます。有効にす

ると、ユーザーは4桁の画面ロックパスワード（数字のみ）を設定および変更できます。パスワードは、デバイスを起動するたびに入力する必要があります。

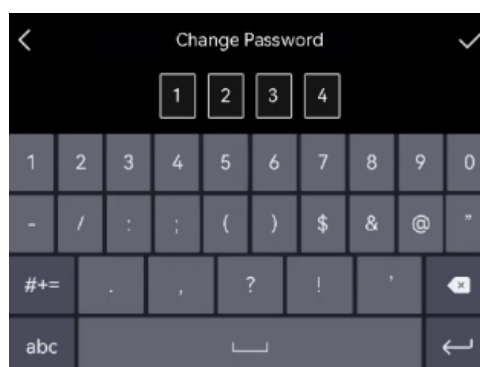
 **注意** デバイスがロック状態の場合、PC 経由でデバイスストレージメディアにアクセスすることはできません。

11.6.1 パスワードの設定

 > [デバイス設定] > [画面ロック] に移動し、ボタンをオンにします。パスワードを入力します。

11.6.2 パスワードを変更

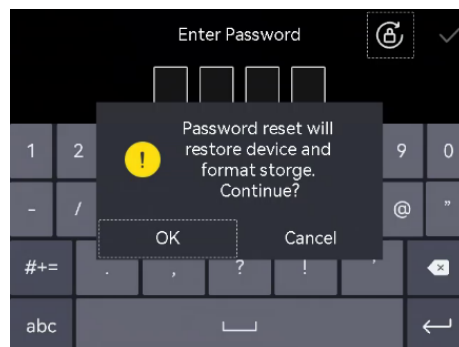
ユーザーはパスワードを変更することができます。 > [デバイス設定] > [画面ロック] > [パスワードを変更] に移動します。



11.6.3 パスワードをリセット

パスワードを忘れた場合はリセットできますが、この操作を行うと保存されているデータとユーザー設定がすべて消去されます。十分ご注意ください。

1. パスワード入力インターフェイスで、 をタップします。
2. ポップアップ会話ボックスで **[OK]** を選択してパスワードを復元するか、**[キャンセル]** を押して操作をキャンセルします。



11.7 キャリブレーションについて

メンテナンスポイントに関する情報については、最寄りの販売店にお問い合わせください。より詳細な校正サービスについては、<https://www.hikmicrotech.com/en/support>を参照してください。

第12章 FAQ

以下のQRコードをスキャンすると、デバイスに関するよくある質問をご覧ください。



法的情報

© Hangzhou Microimage Software Co., Ltd. 禁・無断複製。

本マニュアルについて

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されることがあります。このマニュアルの最新版は、HIKMICRO Webサイト

(<http://www.hikmicrotech.com>) でご確認ください。

本マニュアルは、本製品をサポートする訓練を受けた専門家の指導・支援を受けた上でご使用ください。

商標

 **HIKMICRO** およびその他のHIKMICROの商標とロゴは、様々な裁判管轄地域におけるHIKMICROの所有物です。

言及されているその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

免責事項

適用法で認められる最大限の範囲で、本マニュアルおよび説明されている製品(ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む)は、[現状のまま]および[すべての欠陥とエラーがある]状態で提供されます。HIKMICROでは、明示あるいは黙示を問わず、商品性、満足の品質、または特定目的に対する適合性などを一切保証しません。本製品は、お客様の自己責任においてご利用ください。HIKMICROは、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データの損失、システムの障害、文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、それが契約に対する違反、不法行為(過失を含む)、製品の責任または製品の使用に関連するものであっても、たとえHIKMICROがそうした損害および損失について通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

お客様は、インターネットにはその性質上固有のセキュリティリスクがあることを了解し、異常動作、プライバシーの流出、またはサイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウィルス感染

等のインターネットセキュリティリスクによる損害について、HIKMICROは一切責任を負いません。ただし、必要に応じてHIKMICROは適時技術的サポートを提供します。

お客様には、すべての適用法に従って本製品を利用し、さらにご自分の利用法が適用法を順守していることを確認する責任があります。特に、肖像権、知的財産権、またはデータ保護等のプライバシー権を非限定的に含むサードパーティの権利を侵害しない手段で本製品を利用する責任があります。大量破壊兵器の開発や生産、化学兵器・生物兵器の開発や生産、核爆発物や危険な核燃料サイクル、または人権侵害に資する活動を含む、禁じられている最終用途の目的で本製品を使用してはなりません。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

規制情報

これらの条項は、対応するマークまたは情報が付された製品にのみ適用されます。

EU 適合宣言



本製品および同梱の周辺機器（適用可能な場合）には「CE」マークが付いており、指令2014/30/EU（EMCD）および指令2011/65/EU（RoHS）の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。

Hangzhou Microimage Software Co., Ltd.では、本デバイス（ラベルを参照）が指令2014/53/EUに適合していることをここに宣言します。

EU適合宣言書の全文は、以下のインターネットアドレスから入手いただくことができます：

<https://www.hikmicrotech.com/en/support/download-center/declaration-of-conformity/>.

5 GHz帯での制限：

指令2014/53/EUの第10条（10）によると、次の地域では、5150～5350MHzの周波数帯でのこのデバイスの操作は屋内での使用に制限されています。オーストリア（AT）、ベルギー（BE）、ブルガリア（BG）、クロアチア（HR）、キプロス（CY）、チェコ（CZ）、デンマーク（DK）、エストニア（EE）、フィンランド（FI）、フランス（FR）、ドイツ（DE）、ギリシャ（EL）、ハンガリー（HU）、アイスランド（IS）、アイルランド（IE）、イタリア（IT）、ラトビア（LV）、リヒテンシュタイン（LI）、リトアニア（LT）、ルクセンブルグ（LU）、マルタ（MT）、オランダ（NL）、北アイルランド（UK（NI））、ノルウェー（NO）、ポーランド（PL）、ポルトガル（PT）、ルーマニア（RO）、スロバキア（SK）、スロベニア（SI）、スペイン（ES）、スウェーデン（SE）、スイス（CH）、およびトルコ（TR）。

RF曝露情報

このデバイスはテスト済みで、無線周波数（RF）暴露の適用制限を満たしています。

周波数帯および電力（CE用）

以下の無線装置に適用される周波数帯域、モード、通信出力（放射および/または伝導）の公称値の許容範囲は次のとおりです。

Wi-Fi：2.4 GHz (2.4 GHz～2.4835 GHz)：20 dBm、5 GHz (5.15 GHz～5.25 GHz)：23 dBm、5 GHz (5.25 GHz～5.35 GHz)：23 dBm、5 GHz (5.47 GHz～5.725GHz)：23 dBm、5 GHz (5.725 GHz～5.875 GHz)：14 dBm

5.15-5.35GHzバンドは室内でのみ使用になります。

付属の電源アダプターがない場合は、デバイスに認定メーカーが供給する電源アダプターをご使用ください。電源の詳細な要件については、製品仕様を参照してください。

付属のバッテリーがない場合は、デバイスに認定メーカーが供給するバッテリーをご使用ください。バッテリーの詳細な要件については、製品仕様を参照してください。



指令2012/19/EU（WEEE 指令）：この記号が付いている製品は、欧州連合（EU）の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については以下を参照してください：www.recyclethis.info



規制（EU）2023/1542（バッテリー規制）：この製品にはバッテリーが含まれており、規制（EU）2023/1542 に準拠しています。バッテリーは、欧州連合（EU）の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム（Cd）、鉛（Pb）を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については以下を参照してください：www.recyclethis.info



See the World in a New Way



Hikmicro Industrial



support@hikmicrotech.com



HIKMICRO Industrial



hikmicro_industrial



HIKMICRO



<https://www.hikmicrotech.com/>